

【活動報告】キルギス共和国国会議員団 来日歓迎昼食会・懇談会を開催

2026年6月1日(月)、一般社団法人日本キルギス経済交流協会(JKEEA)は、キルギス共和国議会の有力グループ「アラ・トー」代表であり、日本・キルギス友好議員連盟会長を務めるタイバク・マサビロフ議員を団長とする国会議員団(計9名)をお迎えしました。

また、駐日キルギス共和国大使館のエルキン・オソエフ特命全権大使にもご参席いただきました。当日は衆議院第一議員会館を会場に、歓迎昼食会・国会見学・関係行政機関を交えた懇談会の三部構成でプログラムを実施し、両国間の経済・政治・文化交流のさらなる発展に向けて、充実した対話の場となりました。

■ 12:00～13:30 歓迎昼食会(衆議院第一議員会館 特別室)



議員会館の和室にて、和やかな雰囲気の中歓迎昼食会を開催しました。今回はマサビロフ議員が「アラ・トー」議会グループの代表に新たに就任されたことへのお祝いも兼ねた会となり、国会名物のお弁当を囲みながら両国の絆を改めて確認し合う、温かな時間となりました。

■ 13:30～15:00 国会議事堂見学



昼食会に続き、議員団一行を国会議事堂へご案内しました。日本の憲政の歴史や議事堂建築の特徴をご紹介するとともに、両国の国会制度や運営の違いについて意見を交わし、和やかな雰囲気の中で相互理解を深める有意義な見学となりました。

■ 15:00～16:00 懇談会(日本キルギス友好議員連盟・経済産業省との意見交換)



日本キルギス友好議員連盟会長・弊協会顧問である中谷元議員のご主催のもと、本田太郎議員の司会により懇談会が進行しました。議連より田嶋要議員、猪口邦子議員、西岡義高議員、山田吉彦議員、加藤大博議員、工藤聖子議員、高田事務局長にもご参席いただくとともに、経済産業省製造産業局鉱物課の担当者を交え、実務的な懇談会を行いました。グローバルな共通課題である「重要鉱物の安定供給確保」を主要テーマに活発な意見交換が行われ、資源分野における両国の協力関係強化と持続可能な発展に向けた連携を深めることで認識が一致しました。

グローバルな共通課題である「重要鉱物の安定供給確保」を主要テーマに活発な意見交換が行われ、資源分野における両国の協力関係強化と持続可能な発展に向けた連携を深めることで認識が一致しました。

懇談会の様子は[Жогорку Кеңеш（キルギス最高評議会）のFacebook](#)からもご覧いただけます。

開催概要

日時 2026年6月1日（月） 12:00～16:00

場所 衆議院第一議員会館、国会議事堂

出席者(敬称略)

キルギス共和国国会議員団

氏名	役職
タライバク・マサビロフ	代表団長／「アラ・トー」議会グループ代表／日本・キルギス友好議員連盟会長／産業政策・運輸・燃料エネルギー複合体・建築・建設委員会 委員

グルカン・モルドベコフ	労働・医療・女性問題・社会問題委員会 委員長
ジュマベク・サリムベコフ	財政・予算・起業・競争促進委員会 副委員長
チョルポン・エセンアマノフ	国際問題・防衛・安全保障・移民委員会 副委員長
ボロトベク・ボルビエフ	司法・法務・法秩序・犯罪対策・汚職対策委員会 委員
マヴリュ・カルベルディエフ	労働・医療・女性問題・社会問題委員会 委員
ニルファル・アリムジャンノフ	農業政策・水資源・地下資源利用・生態学・環境保護委員会 委員
アザムジャン・ジャリロフ	財政・予算・起業・競争促進委員会 委員
グルジャン・サティエフ	労働・医療・女性問題・社会問題委員会 委員

駐日キルギス共和国大使館

エルキン・オソエフ 特命全権大使

ティムル 通訳 他2名

日本キルギス友好議員連盟 事務局

高田 事務局

一般社団法人 日本キルギス経済交流協会(JKEEA)

樽床伸二(代表理事)、四橋、小松原、藤野、中村(以上、理事)、長本(社員)

JKEEAは引き続き、キルギス共和国との経済・技術・文化交流の架け橋として、両国の持続可能なパートナーシップ構築に取り組んでまいります。